資料2

議題２　安全なまちづくり県民運動期間のキャンペーンについて（安城市提出）

市名	回答		
	（１）キャンペーン内容	（２）盛況だったキャンペーン	（３）その他、今後の方向性や課題
名古屋市	・県民運動の期間に合わせて、名古屋市も市民運動の期間を設けており、各期間では本市独自に重点事項を決め、区役所を中心として様々なキャンペーンや啓発活動を行っている。	本市でも県民運動期間と合わせて市民運動期間を設け、市独自で各期の重点事項を定めている。 期間中のキャンペーンや街頭啓発については、区役所が中心となって実施しており、各期で計画や報告の提供は受けているため以下に抜粋して記載する。 【令和7年度実施したキャンペーン等】 ・年金支給日に合わせて無人ATM前で啓発品の配布を行い、特殊詐欺被害防止を呼びかける。 ・来庁者に対し特殊詐欺被害が多発している旨を説明し、警察が行う国際電話利用休止の手続きを受け付ける。 ・ふれあい給食会や映画上映会、親子のイベント等のタイミングで講話を実施する。 ・防犯設備士とともに、学区内を巡回し、防犯上の危険個所等を洗い出し、防犯環境の改善を図る。 ・プールを利用する小学生を対象に子どもの防犯に関するチラシと啓発品の配布を行う。 ・ゲームを通して自動車盗、特殊詐欺などの被害防止について学んでもらう。 ・スーパーに車で訪れる方に向けて自動車の盗難防止を啓発し、ナンバープレートに盗難防止ボルトを無料で設置する。 ・自転車が多く止められている駅とその周辺において自転車利用者にワイヤーロックを配布し、ツーロックの普及を図る。	キャンペーンの実施を行っても、特殊詐欺の被害は増加している一方である。また、犯罪率についても政令指定都市の中で5年連続ワースト2位である。 今後も引き続き、より効果的な啓発活動ができるよう考えていきたい。
豊橋市	豊橋警察署と協力し、駅前や商業施設などで啓発チラシや啓発品を配るキャンペーンを実施しています。また、特殊詐欺を防止するため、年金支給日における金融機関での啓発や、来庁者に対して国際電話をブロックする手続きをサポートするイベントを実施するなどしています。	年金支給日に金融機関での特殊詐欺防止のための啓発活動は、高齢者齢層の来店が非常に多いため、直接注意喚起できる機会となっています。	期間中のキャンペーンへの若年層の参加者が少ないため、今年度若者と協力した防犯啓発事業を実施予定となっているため、若者の意見を取り入れながら効果的な啓発を実施していきたいと考えています。
岡崎市	・青色防犯パトロール出発式（約40団体） ・駅、商業施設、駐輪場、金融機関等での各種防犯キャンペーン ・女性対象防犯教室の実施 ・不審者侵入訓練	・一日警察署長として著名人を起用し、集客の高い観光イベントと連携して防犯キャンペーンを実施。また、本人のSNSアカウントにて注意喚起を呼びかけてもらった。	今後は、若い世代が注意を引くような取組みが必要と思われる。
一宮市	市役所敷地内において、退庁者へ特殊詐欺被害防止啓発品を配布するとともに、国際電話利用休止の申込み方法や警察庁推奨のアプリを紹介し、希望者に同所で申込書の記載やアプリのインストールをしてもらう。	当市では、県民運動期間中に限らず、年間を通じて警察と連携してイベントや講話等を行っており、当市は侵入盗被害が多発していることもあり、県警が保有する防犯カメラ動画（スマホ連動型防犯カメラにより空き巣犯人を撃退した実際の防犯カメラ映像）を活用した広報は市民の関心が非常に高く、また、防犯カメラやセンサーライトの購入費用の補助事業も行っているため、併せて広報することで防犯意識の向上を図っている。	市の広報媒体だけでは十分に周知の行き届かず、また、被害者の多くは他人事と捉えていること多いため、引き続き警察と連携して上記取組みを実施していく。
瀬戸市	市が、青色防犯パトロールを実施した。 市が、門灯点灯運動を呼び掛けた。	市と警察が連携して、自転車ツーロックキャンペーンを行い、駅前の駐輪場にてツーロックの必要性を訴えて、ワイヤーロックを配布した。	今後も引き続き啓発活動に努めたい。
半田市	警察と連携し、ホームセンターにて自動車ナンバー盗難防止ネジ無料取付キャンペーンを行っている。	自動車ナンバー盗難防止ネジ無料取付キャンペーン	今後も警察と連携し自動車ナンバー盗難防止ネジ無料取付キャンペーンを実施していく。
春日井市	安全なまちづくり県民運動期間に限らず、年間を通じて、各種イベントや講話等で防犯対策に係る広報・啓発活動を実施しています。		現行内容で継続予定。

議題２　安全なまちづくり県民運動期間のキャンペーンについて（安城市提出）

市名	回答		
	（１）キャンペーン内容	（２）盛況だったキャンペーン	（３）その他、今後の方向性や課題
豊　川　市	市管理職による一斉街頭監視 県内一斉大監視と同日に、市内主要交差点等で夜間、レッドライト（赤色灯）を活用した啓発活動　※春は実施せず 各小学校区での交通安全指導隊（交通安全に関するボランティア）による街頭監視 警察と連携して、駅や病院など市内施設で啓発活動	特段ありません。	
津　島　市	貴市と同様のキャンペーンを実施	特になし	特になし
碧　南　市	・碧南警察署、碧南高浜防犯協会連合と協力してのキャンペーンを行っている。 県自動車整備振興会へきなん支部と合同のナンバープレート盗難防止ネジ無料取り付けキャンペーン。 令和７年度は碧南市役所駐車場で開催。令和８年度は碧南市役所駐車場と市内大手スーパーの駐車場の２箇所にて開催。 防犯少年団による広報活動 ・碧南警察署による国際電話の着信拒否キャンペーンに協力し、市役所に来庁した市民への啓発活動（県民運動期間以外にも複数回開催）。	防犯少年団による防犯活動 夏の安全なまちづくり県民運動期間中に、碧南海浜水族館にて防犯少年団を起用して防犯キャンペーン行っている。水族館へ来園する子どもに対し、防犯少年団が防犯クイズを出し、全問正解者へ記念品を配布。大人に対しても、防犯グッズ（補助錠、防犯砂利等）の紹介を行っている。	現在の活動を維持。
刈　谷　市	刈谷市では、四季の安全なまちづくり県民運動期間中、警察と連携し、庁舎内や刈谷駅等のサイネージを活用して、広報を行っています。また、これまでアピタ刈谷店駐車場にてナンバープレートを盗難防止ネジに取り替えるキャンペーンや帰宅時間帯に駅駐輪場で自転車盗難防止の呼びかけ、年金受給日に銀行出入口で振り込め詐欺防止の呼びかけ等の取組を警察と連携し行っています。	例年８月に開催する刈谷わんさか祭りでは「安心・安全キャンペーン」として、防犯砂利や窓の補助錠の効果を体験していただくとともに、ハンドルロック、タイヤロックなどの防犯グッズの展示を行い、防犯対策の重要性を体感していただきました。	警察との連携をさらに強化し、防犯啓発活動や防犯カメラ作動中プレートの配布等による犯罪抑止に取り組むとともに、ＬＩＮＥ等を活用した防犯情報の発信により注意喚起を行い、市民の防犯意識の向上と安心・安全なまちづくりの推進を図ります。
豊　田　市	警察と協力し、自動車販売店にて自動車盗の啓発 警察と協力し、金融機関窓口にて特殊詐欺の啓発 警察と協力し、住宅展示場にて、侵入盗の啓発 警察や自治区と協力し自転車盗の多い駅駐輪場での啓発	金融機関窓口での特殊詐欺の啓発 年金支給日に実施した際は、多くの高齢者の方が来行されており、高齢者層に絞った啓発ができた。	継続して実施予定
安　城　市			
西　尾　市	西尾市では、春・夏・秋・年末の安全なまちづくり県民運動の時、警察と協力して、スーパーや駅前などでチラシや啓発品を配るキャンペーン等を行っています。	キャンペーンを行う場所は、随時変更をしているが、内容は、ここ数年変更がないことから、特に市民から反響が大きかったキャンペーンはありません。	特殊詐欺の勧誘手法が、固定電話から携帯電話等を用いたSNS型投資やロマンス詐欺へ移行していることから、その有効的な対策及び周知方法。
蒲　郡　市	安城市様同様、警察署や防犯協会と連携してキャンペーンを行っています。過去に行ったものとしましては、 ・スーパーや駅前でのキャンペーン ・自動車ディーラーでの自動車盗難防止キャンペーン ・防犯診断士を招き町内会役員と地域の防犯対策が必要な箇所の確認 ・一日警察署長など	安全なまちづくり運動期間ではなかったものの、竹島水族館にて開催した一日警察署長イベントでは警察音楽隊の演奏も行われ、多くの来場者に特殊詐欺を中心とした防犯対策を伝えることができた。	今後も警察署、防犯協会と連携し、キャンペーン等を通じて啓発活動を行っていく予定。
犬　山　市	・スーパーなど商業施設でのチラシや啓発品の配布 ・警察官がコミュニティバスに乗車し、車内でチラシを配布しながら個別に啓発 ・商業施設において、園児（警察官の服を着用）が啓発品を配って回る	園児の参加は、先生や保護者など必然的に参加者が増えるため、通常のキャンペーンよりはインパクトがある。（新聞等メディアも呼びやすい。）	引き続き、各季キャンペーン期間中の活動等で啓発を図る。

議題２　安全なまちづくり県民運動期間のキャンペーンについて（安城市提出）

市名	回答		
	（１）キャンペーン内容	（２）盛況だったキャンペーン	（３）その他、今後の方向性や課題
常　滑　市	・四季の安全なまちづくり運動期間中において、市内にのぼり旗・横断幕を掲出。 ・常滑警察署及び地域の自主防犯団体と連携し、市内スーパーにて来店客に対し、自転車のワイヤー錠を配布しツーロックの呼びかけ、ドアロック等を配布し侵入盗対策の呼びかけを実施。 ・市内の自主防犯団体と連携し、青パトによる市内巡回およびショッピングモールでの啓発品の配布。（不定期開催） ・市内ショッピングモールにて、県警本部音楽隊による演奏及び特殊詐欺・SNS詐欺の注意を呼び掛けるキャンペーンを実施。	市内ショッピングモールにて、県警本部音楽隊による演奏及び特殊詐欺・SNS詐欺の注意を呼び掛けるキャンペーン。	常滑警察署・中部空港警察及び防犯団体等と連携しキャンペーンを実施する。
江　南　市	江南警察署、江南防犯協会連合会と連携し、市内金融機関窓口での特殊詐欺防止キャンペーン、曼陀羅寺公園での藤まつり防犯啓発キャンペーン、市内事業所での住宅侵入盗防止キャンペーン、市役所本庁舎での＃9110啓発キャンペーン、国際電話利用休止キャンペーンなどの実施。		より効果的なキャンペーンがあれば取り入れ、今後も各種キャンペーンを実施し、啓発に努めていきたい。
小　牧　市	警察署及び地域の団体と協力し、街頭や商業施設において、チラシや啓発品を配布し、侵入盗や自動車盗、特殊詐欺等に対して注意を呼びかける啓発活動を実施しています。また、年末には、警察署のほか交通安全県民運動や消防署・消防団とも合同で年末特別警戒出発式を開催しており、安全なまちづくり啓発としては地域の防犯パトロール団体の青色回転灯装着車が毎年度出発車両に加わっています。	安全なまちづくり県民運動行事としての実施ではありませんが、自転車盗被害の構成として有職の者に次ぐ多さの高校生に対し、警察署とともに高校の自転車駐輪場において自転車ワイヤー錠を配布してツーロックを呼びかける啓発を行いました。	本市においては、刑法犯認知件数における自転車盗の割合が高く、また自転車盗認知件数における無施錠の割合も高いという特徴があります。そのため、（２）にも挙げましたが自転車盗対策が本市の重要取組事項の一つとなっており、今年度、自転車盗被害件数が多い駅及び公共施設の駐輪場において、行動経済学を活用した自転車盗被害防止対策を試験的に実施しています。
稲　沢　市	・広報紙による啓発 ・広報車による巡回啓発 ・商業施設や銀行等での啓発	特になし	特になし
新　城　市	警察署、県機関及び市合同で商業施設での街頭啓発（特殊詐欺対策や侵入盗対策）を行っている。	―	現行の活動を継続実施していく。
東　海　市	自転車盗の増加が著しいため、駐輪場内で利用者に対してツーロックを呼び掛け、自転車の鍵と啓発品を配布した。	なし	運動期間内に限定したキャンペーン等はあまり実施していないため、啓発事業の設定時期について検討する。
大　府　市	・広報大使等を起用した一日警察署長キャンペーン ・商業施設や駅等での啓発品配布	市の広報大使を起用した一日警察署長キャンペーンでは、バイオリニストによる演奏や、金メダリストの金メダルに触れる機会を設けるなど、参加者が楽しみながら防犯・交通安全について学べる内容とした。 その結果、多くの市民に来場いただき、啓発活動への関心を高めるとともに、幅広い世代への周知につながる盛況なキャンペーンとなった。	幅広い世代に対する効果的な周知方法が今後の課題である。
知　多　市	本市も同様に、警察や地区と協力し、車上狙い防止や自動車関連窃盗対策等のチラシや啓発品を配る啓発活動を行っています。	一定数の市民が啓発品を受け取ってくれるが、盛況というまでの状態にはなっていなかったと感じています。	より効果的な啓発とするため、引き続き、啓発活動の内容を検討していく予定です。
知　立　市	安城市と同様の内容	特になし。	地域と連携した防犯意識の向上や、特殊詐欺等への対策強化を継続し、情報発信の方法や地域間の意識差への対応など、共通する内容であると考えております。
尾張旭市	・駅利用者に防犯啓発品を配布し、痴漢・盗撮等の被害防止を呼びかけ、市民の防犯意識の高揚を図るキャンペーンを実施 ・本市の市民祭にブースを出展し、大声測定器を用いて、「助けて」「詐欺だ」等、防犯に関する言葉を叫んでいただく大声コンテストを実施	・名古屋場所で本市に部屋を構える阿武松部屋の力士を招き、トークショーを行うとともに、防犯に関するクイズや、特殊詐欺被害の未然防止を呼び掛ける寸劇を実施	犯罪被害防止のため、様々な情報発信手段を用いて周知をしていきたい。
高　浜　市	本市はスーパー出入口にて警察、防犯ネットワーク委員と協力してチラシ、啓発品の配布によりキャンペーンを周知しています。	広報やＳＮＳ等による市民への周知方法以外に、店舗来店者に対しチラシや啓発品を手渡しすることで広報やＳＮＳ等の周知を見ることが少なく被害を受けやすい年齢層に理解していただけております。	地道な活動を継続していくことが大切であると考えます。

議題２　安全なまちづくり県民運動期間のキャンペーンについて（安城市提出）

市名	回答		
	（１）キャンペーン内容	（２）盛況だったキャンペーン	（３）その他、今後の方向性や課題
岩　倉　市	防犯用具の展示及び啓発品の配布（春） 痴漢被害防止を呼びかける啓発活動（夏） ナンバープレート盗難防止用ネジ取付キャンペーン（秋） 年末青色防犯パトロール出発式（年末）	年末青色防犯パトロール出発式（年末） 江南警察、青色防犯パトロール隊がパトロールを行うとともに、市民に対して、防犯ネットワーク会議団体等による、犯罪などに巻き込まれないように防犯意識の向上を図る啓発活動を実施した。	増加傾向にある自転車盗、自動車盗に関する周知及び啓発活動
豊　明　市	なし	なし	なし
日　進　市	市として実施しているキャンペーンは特になし。（警察署が実施する際に、庁舎内スペースを貸し出すことはある。）		市独自の活動を検討する必要がある。
田　原　市	警察と連携して、市内図書館3か所にチラシと啓発品を設置している。	図書館でのキャンペーンは一定の効果があるものと考えている。	図書館でのキャンペーンの継続
愛　西　市	年末の安全なまちづくり県民運動期間中（１日のみ）、防犯協会が警察と連携して、スーパーの店頭等で、チラシや啓発品を配布。	年末の街頭啓発活動のみを実施し、協会員と警察が協力して来店客に対し積極的にチラシと啓発品を配布していた。	引き続き啓発に努めていきたい。
清　須　市	西枇杷島警察署及び清須市防犯協会と連携し、市内商業施設にて特殊詐欺被害防止等に関する啓発キャンペーンを実施している。	特になし	引き続き西枇杷島警察署及び清須市防犯協会と連携し啓発活動を実施していく。
北名古屋市	庁舎出入口付近での啓発掲示 市防犯協会と警察による市内店舗での啓発キャンペーン	駅改札付近による防犯キャンペーン（自転車盗難防止、痴漢防止）	キャンペーンの時間帯や周知方法の検討
弥　富　市	特殊詐欺対策を中心に、「犯人と話さない対策」として、国際電話利用休止の申込の手助けや、被害防止機能付き電話機補助金の啓発を実施しました。	海部南部防犯協会連合会、蟹江警察署と連携し、ショッピングセンターで特殊詐欺対策として国際電話停止者に対し、防犯協力企業から提供された協賛品等を配付し、啓発に努めました。	愛知県、蟹江警察署、海部南部防犯協会と合同でキャンペーンを継続して実施します。
みよし市	・各季安全なまちづくり県民運動期間中に、警察と協力して市内商業施設出入口やATMコーナー付近にて特殊詐欺に関する啓発活動の実施。	・令和６年度にみよし市出身のアナウンサー長野美郷さんを一日警察署長に委嘱し、市内商業施設にて特殊詐欺防止に関する啓発を実施。	
あ　ま　市	商業施設において、県や警察と連携した防犯・交通安全啓発キャンペーンを実施しました。	商業施設での防犯・交通安全キャンペーンを開催し、ボランティア団体のメンバーが来客者の皆様に対して丁寧に声掛けを行い、チラシや啓発物品を配布いたしました。このような直接的な啓発活動を通じて、来客者の皆様に安全なまちづくりへの関心をさらに深めていただくことができました。	警察や自治会など関係機関との連携をさらに深め、組織的・継続的な安全啓発体制の構築。
長久手市	商業施設前にてチラシや啓発品を配る啓発活動や、ホームセンター前でナンバープレートを盗難防止ネジに取り替える啓発活動を実施しました。	商業施設前にてチラシや啓発品を配る啓発活動では、想定以上の利用者が居り、元々準備していた啓発品１５０セットでは足りず、警察の方が予備として準備していた１５０セットもすべてお渡しすることができました。	市民等対象の行動変容を促す啓発等の検討を行い、効果的なものとなるように取り組みたいと考えている。